

第1回 新アリーナの実現に向けた協議会

- ① 新アリーナ構想のこれまでの経緯
- ② 新アリーナ候補地等
- ③ アリーナの必要性・意義
- ④ 他都市のアリーナ事例

2026年7月7日

一般社団法人広島イベント事業振興協会・株式会社広島ドラゴンフライズ

①新アリーナ構想のこれまでの経緯

2018

「ちゅうごく5県プロスポーツネットワーク」を起点に検討会を開催し、新アリーナ構想について検討開始

2020

6月 広島ドラゴンフライズが新アリーナ準備室を立ち上げ

新型コロナウイルス等を要因として新アリーナ構想が具体的に進まない中、Bプレミアスタートまでに新設では間に合わないため、既存施設改修による一時的な利用を検討
県内既存施設でBプレミアの施設要件を満たすのが広島グリーンアリーナのみという結論に至る

2023

3月 広島ドラゴンフライズがBプレミア参入宣言及び広島県へ広島グリーンアリーナ利用の要望書を提出

7月 広島県が2026年シーズンから5シーズンを目安に暫定利用を認める
⇒**広島ドラゴンフライズとして、2031-32シーズンまでに新アリーナ構想の実現を目指す**

2024

5月 第1回 シンポジウム開催

8月 第2回 シンポジウム開催

10月 JR西日本に対し、JR広島支社跡地の活用策として多機能アリーナの設置を要望

11月 広島県、広島市、広島ドラゴンフライズ、イベント協会、JR西日本等が参加する**勉強会を開始**
「夢の新アリーナ応援プロジェクト」発足

12月 署名活動開始

2025

10月 新しいアリーナの建設を求めた**10万人の署名及び新アリーナ実現に向けた協力に関する要望書を広島県、広島市、JR西日本へ提出**

3月 第3回 シンポジウム開催

広島市とJR西日本が「二葉の里地区まちづくりの推進」に関することを含めた包括連携協定締結

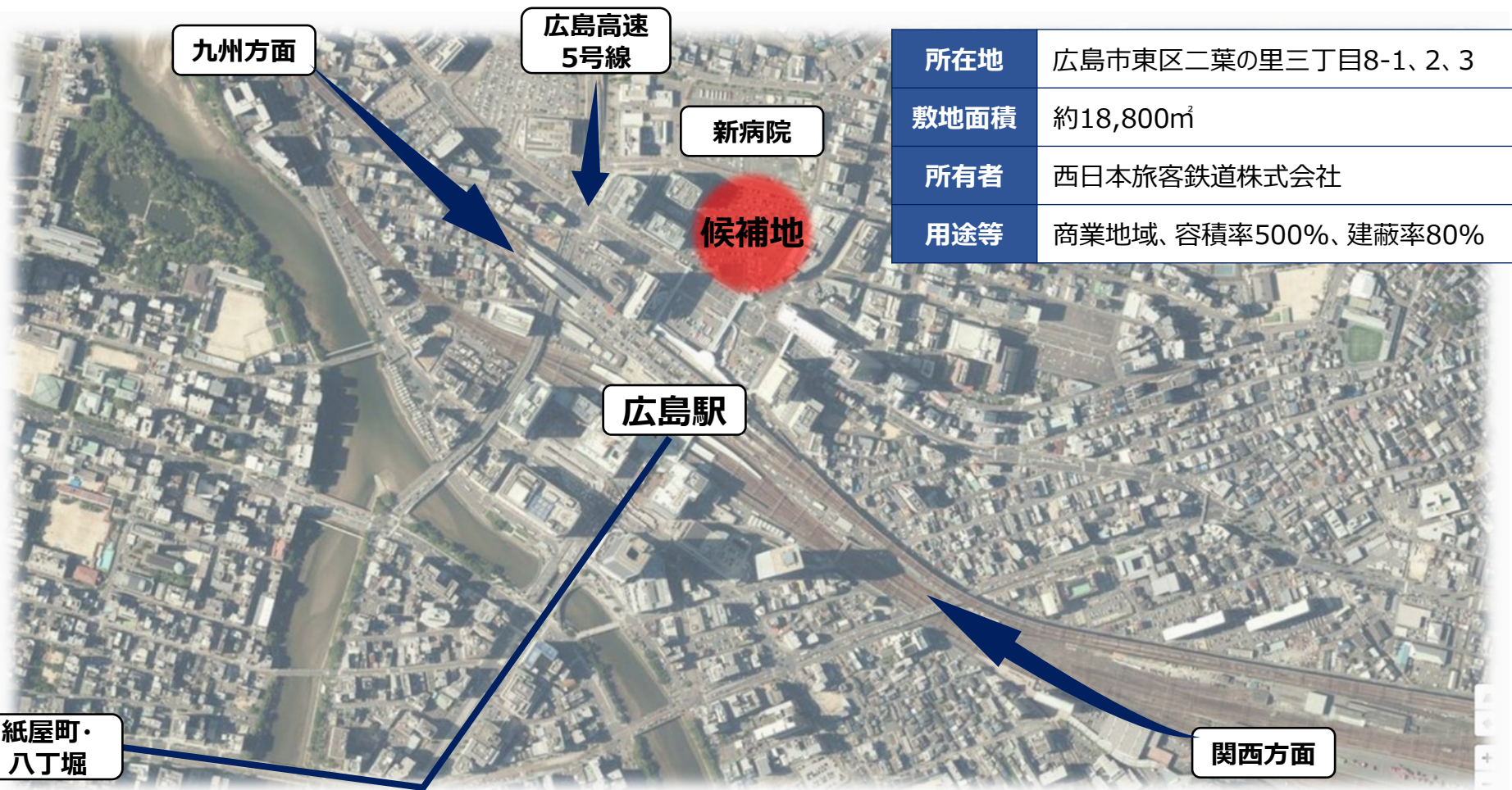
2026

4月 広島県・市トップ会談において、新アリーナの実現について、二葉の里地区の一体的なまちづくりの一環として県市が連携して取り組むことが確認される

6月 第4回 シンポジウム開催

(本日) 「オール広島」でのアリーナ実現を目指し、「**第1回 新アリーナの実現に向けた協議会**」を開催

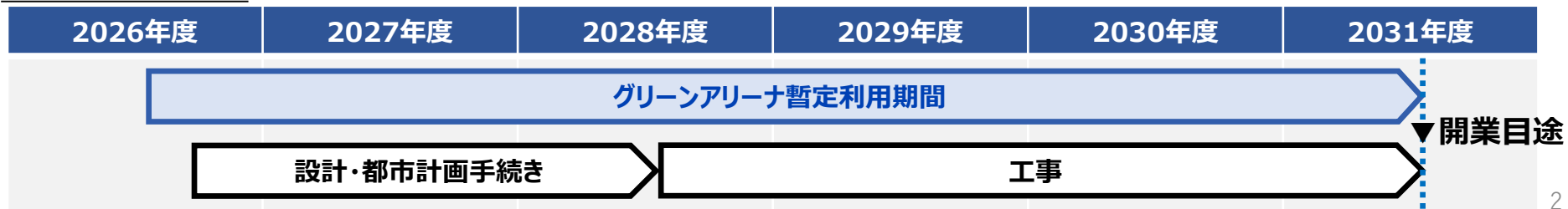
②新アリーナ候補地等



所在地	広島市東区二葉の里三丁目8-1、2、3
敷地面積	約18,800㎡
所有者	西日本旅客鉄道株式会社
用途等	商業地域、容積率500%、建蔽率80%

出典：国土地理院の地図を参考に作成

■目標スケジュール



③アリーナの必要性・意義__アリーナが求められる背景と効果

背景

Bリーグ・SVリーグの 施設基準

Bリーグの「Bプレミア」、SVリーグの「SVライセンス」におけるアリーナ要件について、5,000席以上の座席、VIPエリアの整備などの施設基準が公表されているが、広島では現在暫定利用を行う**広島グリーンアリーナ以外に基準を満たす施設がない**

コンサート需要の逸失

コンサート市場が拡大傾向にある中、広島にある1万人規模のアリーナは広島グリーンアリーナのみであり、また開館日数に占める有料興行日数（本番）の割合が、平日を除き、原則10%であることから、**コンサートの開催機会を取りこぼしている状況**

広島グリーンアリーナの 高稼働

令和8年度から広島ドラゴンフライズのホームアリーナとして暫定利用されるほか、スポーツ大会やコンサート等の開催など広島グリーンアリーナの利用ニーズは高く、**ほぼ100%稼働**となっている

広島のまちの魅力低下

香川に新アリーナが完成しており、また岡山でも新アリーナ構想があることから、中四国エリアにおいて、**相対的にまちとしての魅力が低下する可能性がある**

アリーナ実現による効果

プロスポーツチームの ホームアリーナ確保

新アリーナの整備により、広島ドラゴンフライズ等のスポーツチームのホームアリーナが確保でき、**継続して上位リーグに参画出来ることから、地元住民の誇りや地域の活力につながる**

ライブ・コンサートの 広島飛ばし解消

全国で1万人規模の新アリーナ建設が進む中、演出環境の統一や有効収容人数を高め、収益性を改善することで、**ライブ・コンサートを積極的に誘致し、広島飛ばし解消に寄与する**

広島グリーンアリーナ との連携強化

広島グリーンアリーナと新アリーナとの2館体制にすることで、**更なるコンサート開催やこれまで広島に誘致出来ていなかったMICE、大規模スポーツ大会の開催が可能となる**

広域集客機能の向上と 広域周遊の促進

スポーツ、コンサートなど多種多様なイベントが開催されることで**広域集客機能が向上するとともに、来街者の広域周遊により県域や広域都市圏内の飲食・観光・宿泊需要が誘発されるなど産業創出、経済効果の増大につながる**

若者流出対策

新アリーナの整備に伴い、**若者が求める人気アーティストのライブ・コンサート開催などエンターテインメントコンテンツの充実により、イベント業への就業も期待でき、若者流出を防ぐ一助となる**

新アリーナを実現することで、都市間競争を勝ち抜き、広島の**都市格を向上**

③アリーナの必要性・意義__アリーナの活用例

- ▶ アリーナの活用は多岐にわたり、県内だけでなく、県外からも多くの集客が見込まれることから、**広域集客機能を向上させるとともに、来街者の広域周遊による県域や広域都市圏内への効果も期待できる**
- ▶ 本アリーナは興行としての活用だけでなく、広島駅前という立地特性から、**災害時の一時避難場所**としても活用できる

音楽興行	ホームアリーナ	各種式典	エリアMICE
 ・国内外のトップアーティスト、アイドル等の音楽ライブ、ショーイベント、エンタメフェス等での活用	 ・広島のアリーナを拠点とするプロスポーツクラブ（広島ドラゴンフライズ等）のホームアリーナとして活用	 ・行政及び関係団体等が主催、共催、協賛、後援する各種式典の会場として活用	 ・広島駅エリアに集積するMICE関連施設や関係者等が一体となって魅力的なMICEを開催
大規模スポーツ大会・興行	フィギュアスケート・アイスショー	地域振興イベント	災害時の拠点
 ・eスポーツ、格闘技、バドミントン、ハンドボールなどの全国大会・国際試合・興行の会場として活用	 ・アリーナをアイス仕様とすることで、フィギュアスケートの国内外大会、エキシビジョン、アイスショー会場として活用	 ・広島市内はもとより、県内市町や、広島広域都市圏市町の地域振興を図るイベント等の会場として活用	 ・施設特有の設備を活用し地域災害対応拠点、帰宅困難者の一時避難拠点として活用 ・支援物資の集積・ボランティアの集合拠点の活動スペース提供

③アリーナの必要性・意義__公共性・公益性

新アリーナは、関連法令及び行政計画の趣旨に合致するものであり、**県民・市民生活の質の向上や広島が抱える都市課題の解決に資する、公共性・公益性の高い施設**であると考えられる



ひろしま都心活性化 プランの実現

新アリーナの建設候補地が所在する広島駅周辺地区は、県市策定の「ひろしま都心活性化プラン」において「新たなにぎわいと交流を生み出していく」広島の陸の玄関ゾーンとされており、新アリーナ構想は同プランの実現に資する



二葉の里地区まちづくりの 方針に合致

候補地である街区の地区計画では「広域的な拠点性を高めるため、業務機能及び教育・人材育成機能を主体に、商業・文化等の機能が複合した土地利用」とする方針であり、新アリーナはこれらの機能を有する都市施設となる



良質な鑑賞・体感機会の 提供と生活の質の向上

スポーツ基本法及び文化芸術基本法の趣旨を踏まえ、スポーツ・文化芸術に関する良質な鑑賞・体感機会を県民・市民が享受できる環境を創出することは、生活の質の向上に寄与する



スポーツ振興の促進

広島ドラゴンフライズ等のプロスポーツ選手との交流機会や子ども向け教室等のイベント開催を通じ、広島県が目指す「スポーツを通じた地域・経済の活性化」や「競技力の向上」のみならず、広島市が目指す新しい「スポーツ王国広島」の実現にも貢献する



地域交流拠点としての活用

興行が行われない日程でも、アリーナを一部開放し、地域の交流・活動の場として活用することで、地域コミュニティの維持・活性化に貢献する



防災機能の向上

災害時の帰宅困難者の一時滞在施設としての機能を備えることにより、広島駅エリアにおける防災まちづくりの推進に寄与する

③アリーナの必要性・意義 アリーナを起点としたまちづくりの必要性

アリーナは広島駅周辺・二葉の里地区が有する**立地優位性**を活かすとともに、**官民連携による二葉の里地区まちづくり基本計画の方向性にも合致**するものであり、都心の回遊性向上とまちづくりの更なる推進を導く起点となる

立地特性 — 行政計画の位置づけ

ひろしま都心活性化プランの実現

広島駅周辺地区は、県市で策定した「ひろしま都心活性化プラン」において「新たなにぎわいと交流を生み出していく」広島の陸の玄関ゾーンとされており、新アリーナ構想は同プランの実現に資するものである。



出典：ひろしま都心活性化プラン

二葉の里地区まちづくりの方針に合致

候補地である街区の地区計画では「広域的な拠点性を高めるため、業務機能及び教育・人材育成機能を主体に、商業・文化等の機能が複合した土地利用」とする方針であり、新アリーナはこれらの機能を有する都市施設となるものである。

アリーナの実現によりもたらされる効果

都心の回遊性向上

広島都心会議のビジョンにおいても、1万人規模の大規模集客施設の整備が求められており、**アリーナを核として都心来訪者の回遊を創出**することが可能となる。また、路面電車の駅ビル乗り入れも契機として、えき・まちエリアの連携を強化し、更なる都心活性化を図る



出典：広島市都市計画マスタープラン

まちづくりの更なる推進

広域集客機能を有し、広域周遊の起点にもなるアリーナは、陸の玄関口にふさわしい都市機能。アリーナを目的施設として新たにぎわいをもたらすとともに、**平成22年から進めてきた区画整理事業のラストピース**として、まちづくりの更なる推進に貢献し、歴史文化あふれる同エリアの魅力発信の好機とする

アリーナを核に都心の回遊性向上と二葉の里地区まちづくりの更なる推進を官民連携のもとで一体的に取り組む

③アリーナの必要性・意義__地域資源の存続、文化振興

- B1(Bプレミア)のライセンス基準として、収容人数5,000人以上と定められている。
- 2025-26シーズンにおいて、B1リーグの平均入場者数は5,107名であり、9チームが平均入場者数5,000名を超え、トップの名古屋ダイヤモンドドルフィンズ（ホームアリーナは2025年7月に竣工したIGアリーナ）は平均入場者数10,281名（前年比192.1%増）となっている。
特に、B1(Bプレミア)のライセンス基準に合致した**新アリーナを整備しているチームの平均入場者数は整備前比で増加しているケースが多い。**
- 音楽興行においてもアリーナ施設の大型化が求められ、**有名アーティストを誘致する場合、首都圏アリーナと同程度の会場が必要**となる。
- 以上より、広島においては**1万人規模のアリーナ施設**を目指す。

B 1 (Bプレミア)リーグホームアリーナ検査要項

収容人数	・5,000人以上 ※仮設席、立見席を含む
スイート・ラウンジ	・スイート(居室化されたスペース)は入場可能数の2%以上必要 ・ラウンジはスイートと合計して5%以上必要
大型映像装置	・観客から視認可能な位置に設置された大型映像設備を常設設備として必要
一般駐車場	・駐車場は騒音の影響で施設近隣から苦情等が発生しない場所にある 等

音楽興行で求められる施設

- 国内有名アーティスト、海外アーティストともに大規模公演が増加していることや興行主としての事業収支の観点からも10,000人規模の施設ニーズがこれまで以上に高まっている
- 首都圏アリーナと同様の演出（床荷重・音響設備等）が可能な施設が求められている

<2025年 アリーナ公演>

公演数	2,729
動員数	2,179万人
平均	7,984人

出典：一般社団法人コンサートプロモーターズ協会

広島県内の類似施設

		席数	5,000席	8,000席	10,000席
バスケットボール	広島グリーンアリーナ	6,500席（スイートルーム含む）			
	新アリーナ	10,000席			
エンタメ	広島グリーンアリーナ	約7,000席（※関係者ヒアリングによる）			
	新アリーナ	10,000席			
MICE	新アリーナ				

プロスポーツを誘致可能な規模

有名アーティストの大規模コンサートを誘致可能な規模

新アリーナをメイン会場として、周辺ホテル等と連携したMICEの誘致が可能

③アリーナの必要性・意義__西日本及び広島エリアのアリーナ施設

- 関西地方及び九州地方においては、アリーナツアーが開催される会場が相応に整備されているが、現時点では中四国エリアには広島県の広島グリーンアリーナとあなぶきアリーナ香川の2施設のみである。広島グリーンアリーナは稼働率が高く、また、開館日数に占める有料興行日数（本番）の割合が、平日を除き原則10%としつつ、柔軟な運用を行っているところであるが、**アリーナツアーとしての利用が限られる。**
- 新アリーナが実現すれば、**最新設備を備えたアリーナ施設及び新幹線の駅前立地を活かすことで、アリーナツアーの受け皿不足を解消することが出来る。**

西日本においてアリーナツアーが開催される主な会場



広島県内アリーナの状況

項目	新アリーナ	広島グリーンアリーナ
収容人数 (コンサート利用)	10,000人 (10,000席)	約10,000人 (約7,000席※) ※関係者ヒアリングによる
開業	2031年目途	1994年
立地	JR広島駅から 徒歩3分	JR広島駅から路面電車紙屋町西駅まで約15分→紙屋町西駅から徒歩8分
アリーナ床材	コンクリート床	木床
利用制限	なし	平日を除き原則10 % (開館日数に占める有料興行日数本番の割合の上限)とし、柔軟な運用を行っている